

2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL https://www.inpex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 細野 宗宏 (TEL) 03-5572-0233
 ジェネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	287,401	42.0	146,277	40.7	130,968	12.7	29,696	76.6
2019年3月期第1四半期	202,351	△7.1	103,956	19.2	116,222	21.7	16,812	△16.0

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期△31,884百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 42,376百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2019年12月期第1四半期	円 銭 20.34	円 銭 —
2019年3月期第1四半期	11.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2019年12月期第1四半期	百万円 4,750,930	百万円 3,205,893	% 62.1
2019年3月期	4,793,545	3,257,584	62.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 2,952,091百万円 2019年3月期 3,006,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 24.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 9円00銭 記念配当 6円00銭

(注3) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注4) 当社は2019年6月25日に開催された定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2019年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。従いまして、経過期間となる2019年12月期は、2019年4月1日から2019年12月31日までの9か月決算となります。

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年4月1日～2019年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	581,000	32.6	276,000	21.9	260,000	5.3	49,000	44.0	33.56
通期	988,000	—	472,000	—	460,000	—	90,000	—	61.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当社は、2019年6月25日に開催された定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2019年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。従いまして、経過期間となる2019年12月期は、当社および仮決算子会社※等につきましては、2019年4月1日から2019年12月31日の9か月間を連結対象期間、12月決算の子会社につきましては、従来通り、2019年1月1日から2019年12月31日の12か月間を連結対象期間としています。
※仮決算子会社とは決算日は12月31日であるものの、連結決算に与える影響が相対的に大きいため、3月31日に組み替えて決算を行った子会社であります。

（参考）

下記の％表示（調整後増減率）は、当社および仮決算子会社等の前期業績を9か月（2018年4月1日から2018年12月31日）、12月決算の子会社と前期業績につきましては12か月（2018年1月1日から2018年12月31日）として調整した金額を当期業績予想と比較した増減率です。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	（単位：百万円）
988,000 23.5%	472,000 14.1%	460,000 3.2%	90,000 72.1%	

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	1,462,323,600株	2019年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	2,123,234株	2019年3月期	2,123,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	1,460,199,941株	2019年3月期1Q	1,460,357,100株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式(2019年12月期1Q 156,734株、2019年3月期 157,300株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 3,600.00	円 銭 —	円 銭 6,000.00	円 銭 9,600.00
2019年12月期	—				
2019年12月期(予想)		4,800.00	—	4,800.00	9,600.00

(注1) 2019年3月期期末配当金の内訳

普通配当 3,600円 記念配当2,400円

(注2) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

(注3) 当社は2019年6月25日に開催された定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2019年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。従いまして、経過期間となる2019年12月期は、2019年4月1日から2019年12月31日までの9か月決算となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
3. 参考情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、油価は下落したものの、販売数量が増加したことにより、売上高は前年同期比850億円、42.0%増の2,874億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比435億円、25.7%増の2,130億円、天然ガス売上高は前年同期比414億円、142.2%増の706億円となりました。当第1四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比7,165千バレル、32.5%増の29,231千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比64,942百万立方フィート、184.6%増の100,119百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比64,707百万立方フィート、370.6%増の82,170百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比6百万立方メートル、1.3%増の481百万立方メートル、立方フィート換算では17,949百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり66.22米ドルとなり、前年同期比4.30米ドル、6.1%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり4.73米ドルとなり、前年同期比1.79米ドル、60.9%の上昇となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり56円68銭となり、前年同期比7円57銭、15.4%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル109円99銭となり、前年同期比1円26銭、1.2%の円安となりました。

売上高の増加額850億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の増加により754億円の増収、平均単価の上昇により57億円の増収、売上の平均為替レートが円安となったことにより38億円の増収、その他の売上高が0億円の減収となりました。

一方、売上原価は前年同期比412億円、51.5%増の1,213億円、探鉱費は前年同期比18億円増の20億円、販売費及び一般管理費は前年同期比3億円、2.1%減の177億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比423億円、40.7%増の1,462億円となりました。

営業外収益は、前年同期の受取補償金の剥落等により、前年同期比140億円、70.7%減の58億円となりました。営業外費用は持分法による投資損失の計上や支払利息の増加等により、前年同期比135億円、177.5%増の211億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比147億円、12.7%増の1,309億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比46億円、4.9%増の998億円となり、四半期純利益は前年同期比101億円、48.2%増の310億円となりました。非支配株主に帰属する四半期純利益は13億円となり、以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比128億円、76.6%増の296億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

販売数量の増加、ガス価の上昇により、売上高は前年同期比40億円、14.2%増の325億円となり、営業利益は前年同期比5億円、9.3%増の68億円となりました。

②アジア・オセアニア

販売数量の増加により、売上高は前年同期比658億円、919.5%増の729億円となり、前年同期の営業損失13億円に対し、当期は373億円の営業利益となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売数量の減少、油価の下落により、売上高は前年同期比134億円、41.8%減の186億円となり、営業利益は前年同期比68億円、60.4%減の44億円となりました。

④中東・アフリカ

油価は下落したものの、販売数量の増加により、売上高は前年同期比294億円、22.5%増の1,606億円となり、営業利益は前年同期比90億円、9.7%増の1,023億円となりました。

⑤米州

販売数量の減少、油価の下落により、売上高は前年同期比9億円、26.5%減の25億円となりましたが、売上原価の減少等により、営業損失は前年同期比8百万円、2.2%減の3億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4兆7,509億円となり、前連結会計年度末の4兆7,935億円と比較して、426億円の減少となりました。流動資産は4,078億円で、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比較して498億円の減少となりました。固定資産は4兆3,430億円で、無形固定資産及び投資その他の資産の増加等により前連結会計年度末と比較して72億円の増加となりました。

一方、負債は1兆5,450億円となり、前連結会計年度末の1兆5,359億円と比較して90億円の増加となりました。このうち流動負債は3,605億円で、前連結会計年度末比114億円の減少、固定負債は1兆1,844億円で、前連結会計年度末比205億円の増加となりました。

純資産は3兆2,058億円となり、前連結会計年度末比516億円の減少となりました。このうち、株主資本は2兆6,464億円で、前連結会計年度末比85億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は3,056億円で、前連結会計年度末比629億円の減少、非支配株主持分は2,538億円で、前連結会計年度末比26億円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の2,396億円から当第1四半期中に減少した資金692億円を差し引いた1,703億円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比193億円増の611億円となりました。これは主に、法人税等の支払額が増加したものの、税金等調整前四半期純利益が増加したこと、非資金項目である減価償却費が増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比2,732億円減の1,513億円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出の剥落によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、前年同期比2,369億円減の250億円となりました。これは主に、コマース・ペーパーの発行による収入の剥落や、長期借入れによる収入が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については、2019年12月期第1四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、2019年5月13日に公表の数値から下記のとおりの変更を行いました。

1. 第2四半期連結累計期間業績予想 (2019年4月1日～2019年9月30日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想(A)	549,000	244,000	228,000	44,000
今回修正予想(B)	581,000	276,000	260,000	49,000
増減額(B-A)	32,000	32,000	32,000	5,000
増減率(%)	5.8	13.1	14.0	11.4

2. 通期連結累計期間業績予想 (2019年4月1日～2019年12月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	958,000	442,000	430,000	90,000
今回修正予想(B)	988,000	472,000	460,000	90,000
増減額(B-A)	30,000	30,000	30,000	-
増減率(%)	3.1	6.8	7.0	-

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想	今回修正予想
原油価格 (ブレント)	通期平均 65.0ドル/バレル	第1四半期実績 68.5ドル/バレル 第2四半期以降 65.0ドル/バレル 通期平均 66.2ドル/バレル
為替 (対米ドル)	通期平均 110.0円/ドル	第1四半期実績 109.9円/ドル 第2四半期以降 110.0円/ドル 通期平均 110.0円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	239,675	170,413
受取手形及び売掛金	92,217	123,104
たな卸資産	40,100	39,313
その他	98,975	88,191
貸倒引当金	△13,257	△13,173
流動資産合計	457,711	407,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	187,191	184,512
坑井（純額）	259,310	256,482
機械装置及び運搬具（純額）	1,304,356	1,264,576
土地	18,930	18,922
建設仮勘定	506,399	507,478
その他（純額）	2,805	12,138
有形固定資産合計	2,278,994	2,244,111
無形固定資産		
のれん	47,276	45,586
その他	472,937	503,343
無形固定資産合計	520,213	548,930
投資その他の資産		
投資有価証券	419,064	368,114
長期貸付金	592,786	658,349
生産物回収勘定	568,059	567,510
その他	31,005	28,493
貸倒引当金	△789	△785
生産物回収勘定引当金	△70,017	△68,920
探鉱投資引当金	△3,482	△2,722
投資その他の資産合計	1,536,625	1,550,039
固定資産合計	4,335,834	4,343,081
資産合計	4,793,545	4,750,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,205	10,239
短期借入金	127,184	127,942
未払法人税等	19,281	30,676
事業損失引当金	9,971	9,888
探鉱事業引当金	7,303	9,719
役員賞与引当金	96	24
資産除去債務	3,309	2,701
その他	172,649	169,357
流動負債合計	372,000	360,549
固定負債		
長期借入金	1,014,013	1,029,094
株式給付引当金	21	28
特別修繕引当金	479	493
退職給付に係る負債	6,265	6,237
資産除去債務	110,107	112,419
その他	33,073	36,213
固定負債合計	1,163,961	1,184,487
負債合計	1,535,961	1,545,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	673,574	674,374
利益剰余金	1,678,914	1,686,705
自己株式	△5,434	△5,433
株主資本合計	2,637,863	2,646,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,831	2,158
繰延ヘッジ損益	6,359	△15,612
為替換算調整勘定	359,425	319,089
その他の包括利益累計額合計	368,616	305,635
非支配株主持分	251,103	253,802
純資産合計	3,257,584	3,205,893
負債純資産合計	4,793,545	4,750,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	202,351	287,401
売上原価	80,107	121,345
売上総利益	122,244	166,056
探鉱費	175	2,050
販売費及び一般管理費	18,111	17,727
営業利益	103,956	146,277
営業外収益		
受取利息	1,559	1,025
受取配当金	1,082	2,001
持分法による投資利益	4,822	—
為替差益	1,492	—
受取補償金	7,375	—
その他	3,554	2,807
営業外収益合計	19,886	5,834
営業外費用		
支払利息	2,088	7,610
持分法による投資損失	—	6,211
貸倒引当金繰入額	2,653	—
生産物回収勘定引当金繰入額	545	1,051
為替差損	—	4,590
その他	2,332	1,679
営業外費用合計	7,620	21,143
経常利益	116,222	130,968
税金等調整前四半期純利益	116,222	130,968
法人税、住民税及び事業税	90,244	100,776
法人税等調整額	4,997	△897
法人税等合計	95,241	99,879
四半期純利益	20,981	31,088
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,169	1,392
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,812	29,696

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	20,981	31,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,160	△665
為替換算調整勘定	12,108	△40,380
持分法適用会社に対する持分相当額	7,125	△21,927
その他の包括利益合計	21,394	△62,973
四半期包括利益	42,376	△31,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,204	△33,284
非支配株主に係る四半期包括利益	171	1,400

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	116,222	130,968
減価償却費	21,998	39,421
のれん償却額	1,690	1,690
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	567	1,080
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	△340	2,348
その他の引当金の増減額(△は減少)	2,614	△955
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	301	1
受取利息及び受取配当金	△2,641	△3,026
支払利息	2,088	7,610
為替差損益(△は益)	△2,189	4,454
持分法による投資損益(△は益)	△4,822	6,211
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	2,449	7,750
生産物回収勘定(非資本支出)の増減額(△は増加)	8,367	△2,034
売上債権の増減額(△は増加)	△28,542	△32,292
たな卸資産の増減額(△は増加)	△89	35
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,326	△21,954
その他	10,165	9,552
小計	108,513	150,862
利息及び配当金の受取額	3,443	4,186
利息の支払額	△158	△3,353
法人税等の支払額	△70,050	△90,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,747	61,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△207,289	—
有形固定資産の取得による支出	△64,137	△34,419
有形固定資産の売却による収入	23	14
無形固定資産の取得による支出	△167	△248
投資有価証券の取得による支出	△1,424	△977
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△9,064	△10,567
短期貸付金の増減額(△は増加)	△23	118
長期貸付けによる支出	△154,809	△78,970
長期貸付金の回収による収入	114	2,951
権益取得による支出	—	△30,085
その他	12,158	801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424,617	△151,383
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	150,000	—
長期借入れによる収入	144,105	65,246
長期借入金の返済による支出	△17,925	△21,096
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,101
配当金の支払額	△10,651	△17,752
非支配株主への配当金の支払額	△3,521	△2,680
その他	△6	△738
財務活動によるキャッシュ・フロー	261,999	25,078
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,383	△4,076
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△119,486	△69,261
現金及び現金同等物の期首残高	276,079	239,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	156,592	170,390

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,503	7,159	32,090	131,178	3,419	202,351	—	202,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	28,503	7,159	32,090	131,178	3,419	202,351	—	202,351
セグメント利益又は損失(△)	6,240	△1,360	11,295	93,303	△387	109,090	△5,134	103,956

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,134百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,137百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	32,560	72,992	18,677	160,658	2,512	287,401	—	287,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	32,560	72,992	18,677	160,658	2,512	287,401	—	287,401
セグメント利益又は損失(△)	6,820	37,374	4,477	102,357	△378	150,651	△4,373	146,277

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,373百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
日本	原油	0.3百万バレル (日量3.4千バレル)	0.3百万バレル (日量3.2千バレル)
	天然ガス	12.0十億CF (日量132.0百万CF)	11.2十億CF (日量122.8百万CF)
	小計	2.6百万BOE (日量28.2千BOE)	2.4百万BOE (日量26.3千BOE)
	ヨード	142.6t	148.2t
	発電	55.2百万kWh	57.0百万kWh
アジア・オセアニア	原油	0.4百万バレル (日量4.7千バレル)	3.9百万バレル (日量43.2千バレル)
	天然ガス	9.2十億CF (日量100.7百万CF)	79.3十億CF (日量871.8百万CF)
	小計	2.0百万BOE (日量22.2千BOE)	19.1百万BOE (日量209.9千BOE)
	発電	101.2百万kWh	72.4百万kWh
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	4.1百万バレル (日量45.4千バレル)	3.5百万バレル (日量38.3千バレル)
	天然ガス	2.4十億CF (日量26.3百万CF)	1.4十億CF (日量15.7百万CF)
	小計	4.6百万BOE (日量50.1千BOE)	3.7百万BOE (日量41.1千BOE)
	硫黄	19.5千t	8.0千t
中東・アフリカ	原油	20.2百万バレル (日量221.7千バレル)	21.3百万バレル (日量234.2千バレル)
米州	原油	0.3百万バレル (日量3.5千バレル)	1.2百万バレル (日量13.6千バレル)
	天然ガス	8.6十億CF (日量94.5百万CF)	6.9十億CF (日量75.7百万CF)
	小計	1.9百万BOE (日量20.4千BOE)	2.5百万BOE (日量27.8千BOE)
合計	原油	25.4百万バレル (日量278.6千バレル)	30.3百万バレル (日量332.5千バレル)
	天然ガス	32.2十億CF (日量353.5百万CF)	98.8十億CF (日量1,085.9百万CF)
	小計	31.2百万BOE (日量342.7千BOE)	49.1百万BOE (日量539.3千BOE)
	ヨード	142.6t	148.2t
	発電	156.4百万kWh	129.4百万kWh
	硫黄	19.5千t	8.0千t

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含まれます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から6月30日の実績となっております。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第1四半期連結累計期間は原油29.0百万バレル(日量318.9千バレル)、天然ガス35.3十億CF(日量387.4百万CF)、合計35.4百万BOE(日量388.9千BOE)、当第1四半期連結累計期間は原油34.3百万バレル(日量376.6千バレル)、天然ガス103.9十億CF(日量1,141.5百万CF)、合計54.0百万BOE(日量593.7千BOE)となります。

5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	176千バレル	1,482	203千バレル	1,565
	天然ガス (LPGを除く)	17,715百万CF	23,311	17,949百万CF	27,259
	LPG	1千バレル	7	1千バレル	5
	その他		3,701		3,728
	小計		28,503		32,560
アジア・オセアニア	原油	428千バレル	3,120	4,276千バレル	31,517
	天然ガス (LPGを除く)	5,692百万CF	3,636	73,706百万CF	40,784
	LPG	74千バレル	403	71千バレル	691
	小計		7,159		72,992
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	3,906千バレル	31,631	2,468千バレル	18,368
	天然ガス (LPGを除く)	2,392百万CF	445	1,412百万CF	325
	その他		12		△16
	小計		32,090		18,677
中東・アフリカ	原油	17,218千バレル	131,178	22,118千バレル	160,658
米州	原油	337千バレル	2,059	166千バレル	950
	天然ガス (LPGを除く)	9,378百万CF	1,360	7,051百万CF	1,562
	小計		3,419		2,512
合計	原油	22,066千バレル	169,472	29,231千バレル	213,060
	天然ガス (LPGを除く)	35,177百万CF	28,753	100,119百万CF	69,932
	LPG	75千バレル	410	72千バレル	696
	その他		3,714		3,712
	合計		202,351		287,401

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から3月の業績を第1四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。